

1. お知らせ

1) 日本サーバス国内会議報告

毎年開催されるサーバスの国内会議が、京都市で3月29日、30日に開かれました。その議事録の概要はURL: <http://www.servas-japan.org/07jpkaigi/07jpkaigi.html> にあります。また、議事録は全会員に配布することになっていますので同封します。九州支部からはサーバス会長、HY 会員、NT 会員、九州支部長が参加しました。

2) サーバス九州支部会議及び懇親会報告

九州支部における年一回の支部会議を福岡市内で行いました。

日時： 2008年4月5日(土) 14:45時受付、15時—17時

会場： 博多第一ホテル 会議室(2階)

住所： 福岡市博多区博多駅東2-1-27

支部会議録

出席者：18名；福岡(6名)；佐賀(1)；長崎(1)；大分(4)；熊本(2)；宮崎(4)；韓国(2、特別参加)

議事内容

1) 支部長挨拶の後、出席者の簡単な自己紹介がありました。

2) 2007年度活動報告

支部長より2007年度活動報告及び国内会議の報告が配布資料によりなされ、質疑応答がありました。

3) 2007年度会計報告及び監査報告

会計より2007年度の決算の報告及監査より会計監査報告がなされ承認されました。その概略は、2006年度繰越309,840円を含めた2007年度の収入額は、490,367円、2007年度の総支出額は、188,822円です。それで、2008年度への繰越額は、301,545円となります。詳細は同封資料「2007年度決算」をご覧ください。

4) 2008年度活動方針及び活動計画

支部長より2008年度の活動計画案が配付資料で説明され別紙の内容の一部を除き承認されました。この中で九州支部会議の開催を12月に行うことについては、従来どおり4月の第1土曜日に行うこととなりました。会員拡大については、サーバスの「チラシ」を作ることや「サーバス九州会員の名刺」を作り、サーバスの案内をしやすくすることなどが活発に議論されました。「チラシ」づくりについては、国内会議に提案、名刺作りについては検討し提案することとなりました。

また、各県の世話役を以下ようにお問い合わせすることとなりました。

福岡：NT 会員； 佐賀：MN 会員； 長崎：FH 会員； 大分：AK 会員； 熊本：YK 会員； 宮崎：EA 会員； 鹿児島：KI 会員； 沖縄：KK 会員

5) 2008年度予算

会計より2008年度の予算の提案があり、交通費については会員拡大などで行動する際にも使えるようにすることも含めて了承されました。

6) 2008-2009年度役員選出(支部長、副支部長、会計、会計監査)

2006年からの役員の任期が切れるのに伴い、昨年暮れから支部長、会計、監査の推薦について、現支部長が文書にて会員に通知していましたが、新たな支部長の推薦はなく、現支部長の続投のメールが複数あった

ことの報告がなされました。支部長の不在のときの支部長の職務を代行する副支部長を設ける提案と新たな役員の提案が支部長よりなされ、以下の役員が選出されました。支部長：SN； 副支部長：TH； 会計：SN； 会計監査：MA。

この支部会議のために2時間の時間を予定指定していましたが、サーバスのあり方や活動について多くの意見・議論がなされ時間不足となりました。

懇親会

日時： 2008年4月5日（土）支部会議終了後、17時半より19時半まで

場所： 和食どころ「博多いねや」（上記博多第一ホテルより徒歩3分）

十分時間をとった自己紹介も含めて和やかで楽しい懇親会となりました。参加者：15名

2. 会員情報

1) 九州支部会員数 2008年5月31日現在の九州支部の会員は、合計53名です。

福岡：12名； 佐賀：1名； 長崎：7名； 大分：15名； 熊本：3名； 宮崎：12名； 鹿児島：2名； 沖縄：1名

2) 新会員紹介

○JKさんが6月はじめに入会されました。ポツワナに青年協力隊員として滞在された方です。日本のホストリスト2008年には下記の情報は掲載されていませんので、トラベラーの紹介等を宜しくお願いします。

住所、 電話、 E-mail、 受け入れ人数、 趣味、 住んだ国

3. トラベラー受け入れ報告

○ 会員（北九州市）

1) 期間：2008年4月7日（月）～4月11日（金）； R&A夫妻（オランダ）

オランダサーバスメンバーの夫妻が4月7日から11日まで4泊されました。高校教師である彼らは8年間貯めておいた有給休暇を使って1月末から6ヶ月間の休暇を取得、3ヶ月間を活用してサモアに1週間、ニュージーランドに7週間、そして日本に3週間と日本人には考えられないダイナミックなお休みの取り方です！

我が家にサーバスゲストをお迎えする際、自宅が職場でもある私は基本的に日常生活のリズムを変えずに受け入れをし、自宅で開催しているワインとお料理の教室にもゲスト参加していただきます。しかし、今回は彼らから日程表がメールで届いた1月に日程調整をして仕事を別の日にちに移してお待ちしました。それは私自身がトラベラーとして2004年、2005年、そして2007年と3度も彼らのお宅にお世話になったのでこの際一緒に旅行者になった気分で過ごそうと決めていました。訪ねた人が訪ねてくれるのはまた喜びひとしおですね。

夫妻は1月末にオランダを出発する前に滞在中の宿泊先はもちろんおおまかなスケジュールがメールで送ってくれました。かなり下調べをして決めたと思われる日本でのスケジュールに驚きました。3月30日にニュージーランドから成田に到着、東京に3泊、京都に3泊、広島宮島に2泊、そして我が家に辿り着いたのでした。

4月7日月曜日、15時に小倉駅で待ち合わせをせずには小倉の台所、旦過市場へご案内しました。私自身、市場を訪ねるのは海外や日本国内でも知らない街を訪ねるときその街の市場へ行くとそこで暮らす人たちの日常が垣間見られるので大好きです。彼女はお野菜や果物が並ぶお店にいちいち足を止めて「これは日本産か輸入物か」鮮魚店の前で「これはどうやって食べるの？」と質問の嵐でした。お店の人たちとも盛んに交流していきテンションが上がっていきました。

しばらくすると店先に並ぶお刺身用の「甲イカ」に関心を示した奥さんに「それではきょうの晩ご飯はイカのお刺身にしましょう」と提案しお店の人にさばいてもらうことにしました。足と胴体を分け、スミを取り出して準備をしている様子をご主人が熱心にシャッターをきっていました。ヨーロッパの国々ではイタリア南部

とスペイン、ポルトガルの一部をのぞきイカやタコをほとんど食べないようです。その特異な形状からでしょうか。はたしてこの晩お刺身で食べてもらいましたが神妙な顔つきで「大丈夫」といいつつ数切れ試していらっしゃいました（笑）。私は人がお食事するときの表情がいつも気になります。なぜならお行儀よく「おいしい」というときと、とにかく嬉しくて発するときとは表情が全然違いますよね。

ふたりはどんなものにもチャレンジしていましたが味の淡泊なものは「食べられるけどそれほど好みではない」という様子でした。3日目にランチをとったトンカツ屋さんの「浜勝」がとてもお気に召したようです。最初にゴマを各自すってそれに2種類のソースを加え自分でタレをつくりサクサクあがったトンカツをその甘辛いタレにつけていただきます。タレがずいぶん気に入って最後はご飯にかけて完食していました。

2日目はレールパスの有効期限が1日残っているということで二人だけで長崎に出掛けていきました。6時起きで新幹線と特急を乗り継いで1日の旅です。長崎の出島で鎖国中に日本と貿易が許されていた歴史を実際に見ることができ興味深かったようです。彼らの住む街はシーボルトが晩年を研究活動の拠点にしていたライデンという街まで車で15分くらいのところにあり、そこでは今も活発な日本研究がされているようで帰国したら市民セミナーみたいなものに参加したいと話していました。帰宅は夜の10時近くでした。

3日目は午前中あいにくの曇天で、それでも地理の先生をしているご主人が興味深いかたとカルスト台地の平尾台まで車ででかけました。残念ながら途中から強い雨となり散策はできませんでしたが、展示室を見学して小倉の街中へ移動、リヴァーウォークの14階にある地図の会社ゼンリンの「地図の博物館」を訪ねました。ここが思いがけずヒット、伊能忠敬が作成した日本地図や古い世界地図に見入ること2時間「こんなひどい雨の日は家で寝ているしかないかと思っていたけど今日は最高の1日になった」と彼女が喜んでくれました。よかった、よかった(^_^)。

4日目は乗り物好きの彼のためにモノレールに乗りました。「日本に来て新幹線も地下鉄もバスも全て経験済み、でもまだモノレールはのっていない」と小倉に来た初日にモノレールをみてつぶやいていた彼、彼女の話では彼のお母さんいわく「彼は小さな頃から乗り物が大好きでアムステルダムで半日くらい列車がはいてくるのをみていて飽きなかったらしい」なるほど人の好みってあんまり変わらないのだなあ、と思いました。モノレールのホームで入ってくる列車をカメラに収めている彼の姿がまさに少年のようでした。それから門司港まで出掛け散策、展望台のカフェから関門大橋を撮影したりおしゃべりを楽しみました。夜は焼鳥屋さんでお食事。カウンターに並ぶ若いお嬢さん達をみて「彼らの食事代は誰が捻出しているの?」「自分で働いたお金でしょう」「でもまだ学生でしょ」「たぶん20代半ばだと思うな」どうやらふたりには15、6歳の学生さんに見えたようです。家に帰宅するとオランダのお友達からギリシャヘクルーズの旅にいかないかというお誘いがメールで入っていたようです。迷ったものの結局行くことにしたようで、4月22日に3ヶ月の旅から帰国したあとふたたび5月3日から2週間のギリシャの旅に出発、という元気なお二人でした。

こうして4日間はあっという間に過ぎていきました。彼らが次の目的地に旅立ったあとも今頃どこかなあ、無事に旅程が進んでいるかなあと気になりつつ毎日をすごしていましたが「困った」という連絡も幸い入らず日本を発つ日がきたのできっと楽しい時間をすごしたことでしょう。オランダで再会できる日が来ますように。

2) 期間：1月28日月曜日の午後； 韓国、女性

1月後半に韓国人女性の方から丁寧な日本語のメールが入りました。二十歳になるお嬢さんが福岡で働いているので1週間くらい福岡に滞在するので日本語を勉強のために会っておしゃべりできませんか、というものでした。メールにはお嬢さんの携帯電話の番号が書かれていたのでお電話してみました。

お電話で約束をして小倉駅で会いました。赤いセーターを着ていてメガネをかけているということしかわかりませんがすぐにあの人かな、と思ったら先方から「たかはしさんですか」と声をかけてくれました。初対面でしたが懐かしささえ感じるKさんでした。Kさんご自身にも「高橋さんは私の親戚の人に似ていますよ」といわれました。

小倉のティールームで新しくサーバス会員になられた笹原KSさんと合流して、軽いランチをいただきなが

ら3時間近くおしゃべりをしました。数年前まで幼稚園の園長先生をされていたそうですが健康上の理由で退職され、今は学習塾で哲学をおしえていらっしゃるとのことでした。塾で哲学？内容はよくわかりませんでした。が中学生くらいの生徒に教えているそうです。日本語がとても上手でボキャブラリーももちろんですが日本の歴史にも詳しく熱心に勉強されているようでした。

日本語学習をはじめたきっかけは電力会社にお勤めのご主人の昇級試験に日本語があるので一緒にはじめたそうです。「わが家ではいつもNHKをつけて日本語を聞いています。」と話されていました。あいにくの雨でしたがおしゃべりしたあと小倉の街を少し歩いて小倉駅に見送りました。

Kさんとはその後メールやお電話で交流が続いています。お嬢さんも6月いっぱい帰国されるそうなので帰国前にいちど泊まりに来てくださいねとお話ししています。韓国に会いたい友人ができたことをとても感謝しています。

○会員（鳥栖市）

期間： 2008年1月11日～1月12日； 韓国、男性3人

韓国の役員3名が我が家にステイされました。

○ 宮崎市会員

期間： 2008年1月12日～1月14日（金）； 韓国、7名（2夫妻、男性3人）

韓国から韓国サーバスの元会長、現会長、支部長ら7名が鳥栖市経由で宮崎の会員宅に分散して宿泊されました。初日の夕方は、宮崎市内の会員が支部長宅で歓迎パーティを開催しました。

○ 会員（宮崎市）

期間：2008年1月12日～14日；韓国、男性2人

7名の韓国ビジターが佐賀から到着するのを待って、宮崎のメンバーとの交流会を中崎支部長宅で持ちました。とても楽しく、風邪気味だった声も歌合戦ですっかり治ってしまいました。けれどお別れしたらまた風邪が戻ってきました。

○ 会員（宮崎市）

期間： 2008年1月12日～1月14日（金）； 韓国、男性

日本語がわかる人しか受け入れることができないので限られています。会員になって10年を過ぎましたが、受け入れは2回目です。Eさんとは韓国に行くたびにお会いしていますので、受け入れを楽しむことができました。86才の母を上手に会話に引き込んで下さいました。さすが儒教の国からのお客様だと感謝しています。失敗談です。乳製品が嫌いだということを知らないものだから、2日間とも健康によいと思ってヨーグルトを出してしまいました。1日目に残されたので、好き嫌いを聞くべきでした。

○ 会員（宮崎市）

期間： 2008年1月12日～1月14日（金）； 韓国、家族4人

昨年の12月はじめから日本のサーバスホストを探していたが受け入れ可能な電子メールを得ることができないとのことであったが、関東地区で2泊の後、宮崎に2泊された。高校の英語のご主人と奥さん、13才の娘さん、9才の息子さんの4人家族を昼はデイホストとして宮崎市内の4会員が名所案内を、夕方は持ち寄りのパーティで交流を行った。両親との交流も良かったが、子供さん達が日本人や観光地、文化などにふれることで彼らの世界が広がり、将来日本に対してどのような思いをされるのかを思うと、SERVASの役割は大変重要なものであると改めて感じた。帰韓された後、多くの食べ物と写真をそれぞれの会員へ送って下さいました。大変感激された気持ちなのだろうと思った次第。

○ 会員（宮崎市）

期間： 2008年4月13日～4月15日； オランダ、夫妻

高校の地学とフランス語の教師（Rさん、Aさん）が福岡、熊本経由で宮崎に2泊され、レンタカーで四国へ旅立たれた。オランダでは住まいから近くの別々の高校で教鞭を執っていて、二人がそろって1月末から4月まで休みをとり、同じ職場に復帰できるオランダのシステムに驚いた次第。2日間とも夕食をとりながら教育について情報交換できたのは有意義でした。特に宗教戦争に関して話題が出て、オランダでは宗教の授業があり、キリスト教、イスラム教、ヒンズー教、仏教などを知識として教え、どの宗教が良いか悪いかは絶対話さない。教える内容は政治的には右派・左派や各種の代表からなる委員会で決められている。違った角度からの教育をした場合、生徒が親へ、親が学校へ報告するシステムがしっかりしているとのことであった。

二人ともに先生であることから、「可能ならば目の前にある中学校の英語の授業を参観できないか」という希望で、校長先生にお願いしたところOKとなり、中学1年生の始まったばかりの授業参観となった。英語の先生の親切な計らいでRさんとAさんの二人の楽しい自己紹介まですることとなり二人は感激されていた。

青島の海岸への観光で、地学が専門のRomanoさんは鬼の洗濯岩に大感激され、大きなデジタルカメラで多くの写真を撮られていた。その中で地殻変動による断層変化の証拠を鬼の洗濯岩に見つけたのには実に驚いた。これまでお客さんを何回も案内して青島の周りを散歩していたのに気がつかなかった。この断層変位を案内するお客さんに説明できることをひそかに喜んでいる。

○ 会員（宮崎市）

期間： 2008年1月12日～1月13日； 韓国、男性

韓国の釜山の西で日本語を教えている大変紳士的な高校の先生です。以前はフランス語を教えていたそうですが、6年前の教育課程の改訂で、研修を1年間受けたあと日本語を教えるようになったそうです。高校では第1外国語は英語で、第2外国語は日本語か中国語を選択するようになっていますが、李さんの学校では約200人の生徒が日本語を選択し、中国語より多いとのこと。学校では生徒指導の校務に携わっており、学校での放課後の学力指導等で帰宅が遅くなることもあるそうです。

韓国では、箸を縦に置くが日本では横に置く、それはどういう理由があるのだろうか和李さんと私の考えを述べたりして両文化の違い、類似点など話しました。

我が家に到着した夜は夕食のあと、支部長宅で開かれていた別グループの韓国サーバスゲストの歓迎交流パーティに急遽参加しました。

南九州は初めての旅行とのこと。翌朝早く鹿児島に向かっていきましたので、ゆっくり話す時間もありませんでした。奥様とまた訪れたいとのことでした。

4. サーバス旅行報告

○ 思いがけないスイスへの旅 （2007年12月27日 ～ 2008年1月15日）

筑紫野市 会員

昨夏、イギリスでスイス在住のえみこさんと出会い意気投合、是非スイスへとお誘いを受けた。しかもスペインへも一緒にとの話だ。3週間と長いが思い切って行くことにした。縁とは不思議なものだ。

(12/27) チューリッヒ行きの便が突然キャンセルになり代替便は香港で9h待ちだ。香港で山頂の展望台から霧に煙る景色を楽しむ。

(12/28) 朝チューリッヒ着。凍てつく寒さの中ソーニャの家に着く。スイスの住まいは賃貸が多く洗濯機のない家が多いという。共用の洗濯室があり各々が鍵を持ち交代で週に一度洗濯が出来る。日本ではいつでも洗濯出来るがある意味彼等は自然にエネルギー節約に努めているようにも見える。Sは運動療法士、会社員のF(M)と17歳のK(f)の三人家族だ。夕方チューリッヒの街を散策し夫妻のハイキング仲間の月例会に参加する為樹氷が煌めき凍りかけた山道を登る。十数人が集う25年も続く和やかな会に紛れ込む。乞われて参加者名簿にサインした。

(12/29) 1/6 恒例のスリー・キングを体験。パンの中にキングが隠れていて私が引き当て冠を被ってエヘンとおどけてみせる。彼等は今日ドイツへ休暇で帰る。私は昼前スペインのセビリアへ飛んだ。スイスは新聞が無料なので若者がよく読みその結果政治への関心が高いそうだ。スイス人は政治を語るのも大好きだ。変化には欠けるらしいが毎年7人の大臣が交代で首相になるというのも面白い。夕方、セビリア着。えみこさんと4ヶ月振り二度目の再会をする。美味しい海の幸を味わいフラメンコを観に行く。

(12/30) デイホストのH(M)と会い市内を案内してくれる。奥さんのAや子供達(7, 5, 3歳)と合流し賑やかにランチを楽しむ。高所恐怖症で海外へは行けないと笑っていた。夕方バスでグラナダに移動。

(12/31) 大晦日はライトアップされたアルハンブラ宮殿をアルバイシンの丘から眺めて贅沢な時を過ごす。パエリャを注文すると待たされた挙句真っ黒に焦げたものが出て来て仰天。文句を言うと誤りお支払いは結構ですと言う。よく出せたものだと呆れる。

(1/1) 山あいのロンダの公園の陽だまりで土産の「めんたい数の子」をパンにのせ新年を祝う。えみこさんが「スイスに来て初めて！」と叫ばんばかりに大感激。忘れ難いおせちとなる。

(1/2) 南下してジブラルタル海峡へ。生憎の雨だがとうとう来たかと感無量。午後、大都市マラガに移動。ピカソの生家を訪ねて感激する。丘の上のアルカサルライトアップは幻想的だった。

(1/3) 朝、雨に打たれて赤い壁が鮮やかなアルカサル(城址)を散策する。夕方、マヨルカ島経由の便でチューリッヒに戻る。夜遅くウスターのえみこさん宅に着く。

(1/4) 日本人学校長のE(F)さんは今日から新学期だ。五千年の歴史を持つ町クールへ行く。三年前氷河鉄道に乗った所だ。テキスタイルの先生でデイホストのSと会う。知的で物静かな女性だ。400年続くレストランで地方料理を食べる。あちこちにアートが溢れ壁の落書きにも見とれる程だ。夜、学校主催のコンサートに行く。戻ると近くで火事があり消火活動で大騒ぎだった。

(1/5) 雪山に行く予定がえみこさんが体調を崩しダウン。ひとりで憧れのサンクト・ガレンに出掛ける。壮麗な世界遺産の僧院図書館ではあまりの美しさに言葉が出ない。床を傷つけないよう靴のまま大きなフェルトのスリッパを履いた。

(1/6) ウスターでアートの先生でデイホストのGと会う。雨の中雪山に連れて行ってくれた。山は雪が降りしきりまるで別世界だ。チューリッヒに戻りフラウミュンスター教会でシャガールのステンドグラスを見る。笑顔の絶えぬ彼女はあの大きなフェルトのスリッパを組み合わせて奇抜な帽子を作っていた。

(1/7) 三泊四日の旅に出る。ストラスブールに着いて荘厳なカテドラル前の広場で突然大火の煙に出くわす。近くらしい。生憎水位が高く遊覧船には乗れなかった。見所の多い美しい街だ。バーゼルへの車中、車掌がパスポートを見せると言う。実は用心に置いてきていた。そう、スイスはEUに加盟していなかったんだ。コピーで事無きを得たがラッキーとしか言いようが無い。バーゼルでM(F)に会う。駅にはドイツ・フランス・スイス三国のコントロールがある。モニカは電気技師で大の日本びいきだが政治の話が止まらない。

(1/8) 8:45起床。この旅でこんなにゆっくり起きたのは初めてだ。バーゼルには実に素晴らしいアイデアがある。日本とは違い駅のすぐ側に焼却場がありごみ焼却後のエネルギーを2キロ四方の家庭にセントラルヒーティング用に供給しているという。午後首都ベルンへ向かう。ジャーナリストで英語の先生のMR(♀)と会う。祖母から譲り受けた100年経った素敵な部屋に住んでいる。レッスンがありひとりで街を探検。料理好きの彼女の手料理とワインで話が弾んだ。

(1/9) 日本でも人気のパウル・クレー美術館に行く。絵をゆったり眺めているのは至福の時だ。午後、湖と山に囲まれたルツェルンに移動。わくわくしながら黄昏の街を歩く。州のエネルギー問題に関わり多忙なルドルフと理学療法士のマータ夫妻と会う。ユーモア溢れる彼の話に笑い転げる。

(1/10) テラスから標高2000mのピラトス山が見える。マータが午前中市内を案内してくれる。午後は施設に入所したての彼の両親が家に戻りたがるのをふたりで説得に行くという。お国は変われど向き合う問題は同じだと

痛感する。チューリッヒに車で戻るとたった 1h だ。だが天気は最高！湖をボートで渡り登山電車に乗って 1800m のリギ山頂でダイナミックな眺望とサンセットを堪能し楽しい 5h の回り道となる。

(1/11) ウスターの湖近くの英語の先生でゲルトルッドの友人、デイホストの D(f)に会う。隣町まで往復 3h のウォーキングを楽しむ。19:30 頃帰宅し 21:00 過ぎえみこさんと二泊三日のルクセンブルグへの旅に出る。

(1/12) 早朝、ドイツのトリアーに立ち寄り昼、ルクセンブルグに着く。世界遺産の城壁があり往時を偲ばせる。世界決済銀行もある。高層ビル並みの古い橋がいくつもあり雰囲気のある街だ。

(1/13) 朝、フランスのメッスに寄る。荘厳な大聖堂でシャガールの色鮮やかなステンドグラスを見る。シテ島のノートルダム寺院似の教会もある。突然アールヌボワの建物が現れたりする。ここでとんだ話を聞く。一週間前、日本人カップルが汽車にスーツケースを忘れ大騒ぎになり捜査で汽車は止められ乗客は缶詰になり 8,000 ユーロもの罰金を払わされたそう。用心、用心！昼、エミール・ガレで有名なナンシーに着きナンシー派美術館に行く。夕方、乗継ぎのストラスブールでライトアップされたプティット・フランスをみる。あたりは霧に包まれ幻想的だ。帰りに汽車が 1h 半遅れ 23:30 頃帰宅。明日帰国なので荷物をまとめる。

(1/14) 10:50 の便でチューリッヒを発ち翌 1/15 無事帰国の途に着く。どこを訪れてもそれぞれに素晴らしかった。多くのサーバスメンバーの方々にもお会いでき心に残る思い出が出来た。

5. サーバス活動の感想

○ 九州支部会議の感想

宮崎市 会員

高速バスの上から桜見物をしながら福岡市内まで 4 時間。ゆっくり昼食すませて博多駅近くの会場ホテルを探して到着した。今回は宮崎からのメンバーは 4 名で少々さびしいが、韓国の方も参加して、意見を交わしながら夕方に会議を終え記念撮影のあと何人かはここで帰られました。しかし、それからが本番です。道向かいのホテルに場所を変え、料理を囲みながら楽しい時間を過ごしました。あつという間にお開きになりお別れしました。宿泊のホテルは新しく博多の夜景を見ながら露天風呂でした。1 日に 3 つのホテルを回ったこととなります。次の日は大濠公園のさくらと美術館で日展をゆっくり見て、3 時のバスに乗り 8 時には自宅で夕食ができました。会の運営に関わられた皆様ご苦労様でした。おかげで毎回楽しいサーバスの集まりを楽しめました。有り難うございます。

6. 会費納入のお願い

今年度の会費の振り込みをまだされていない方は、下記の口座へ振込をお願い致します。

郵便振替先

口座番号 記号： 01950-6； 番号： 3644

1

加入者名住所： サーバス九州事務局

郵便番号 889-2153

宮崎市学園木花台南 1-2-9

7. トラベラー受け入れ及びサーバス旅行レポート等をお願い

トラベラー受け入れ又はサーバス旅行をされた方からの体験談・報告を下記の事務局へお寄せ下さい。会員間の情報交換になりますので、手紙又は電子メールなど短くても、また、写真添付もよいですのでお願い致します。